

令和5年度ごみ処理実績

ごみ処理費用		収入	
総額	7億3,000万円	6,183万円	
内 訳		内 訳	
収集運搬費	1億4,800万円	ごみ処理手数料	4,183万円
美化センター中間処理費	2億9,000万円	資源売却料	1,960万円
最終処分場最終処分費	5,300万円	その他収入	40万円
資源化処理委託費	3,600万円		
施設改良費	2億 300万円		
ごみ1tあたりの処理費用：54,329円		(市民1人あたりの処理費用：14,883円)	

ごみ収集量合計 13,442 t			
内 訳			
燃えるごみ	12,003 t	資源化量 (1,068 t)	
燃えないごみ	110 t	新聞	55 t
粗大ごみ	305 t	雑誌	53 t
資源	1,024 t	段ボール	30 t
《市民1人が1日出すごみの量》 令和4年度実績値 774.0g/人・日 (人口49,410人) ↓ 令和5年度実績値 750.5g/人・日 (人口49,069人) 対前年比 23.5gの削減 (収集量：対前年比516t削減)		牛乳パック	3 t
		鉄	14 t
		アルミ	12 t
		その他の金属	206 t
		乾電池	12 t
		びん類	176 t
		ペットボトル	66 t
		プラスチック製容器包装	279 t
		衣類等	63 t
		小型家電	92 t
		廃食油	5 t
		蛍光灯類	2 t

ごみの種類組成結果(重量比)

ごみ質分析は、法令で義務付けられているためだけでなく、焼却施設の管理、ごみ処理計画、ごみ減量計画、リサイクル・資源化のためのデータ収集など、さまざまな目的のために実施されます。

右図のとおり、排出された燃えるごみの4割以上が『紙・布類』です。処理困難紙もリサイクル可能になりましたので、引き続き、分別の徹底をお願いします。

また、厨芥類の水分を減らすことにより、さらにごみの削減が可能になります。

